

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月 18日

事業所名:アソシア社会大学

保護者等数(児童数) 46家族・回収数 16・割合 約35%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	0	特になし	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	4	1	特になし	短時間労働する人を増やし、子供達と関わられる機会を増やすよう工夫しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	8	1	特になし	木材で簡易的なスロープを作り設置している。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	1	0	特になし	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	4	0	特になし	スタッフで企画する場合と子供達の希望を聞いてプログラムを構築して実施する場合を織り交ぜながら活動をしている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	11	2	特になし	今後、障害のない子供と活動する機会なども作っていく予定。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0	特になし	契約時、送迎時に直接顔を合わせて話すようにしています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	3	0	特になし	LINEや送迎の際にしっかりと顔を合わせて話すようにしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	2	1	特になし	個別で対応しながら自宅や当時松魚に来所してもらって話すようにしている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	7	2	特になし	3~4か月に1回の程度で家族会を実施。周知が行き届いていなかったため、今後は早めの周知を行っていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2	1	特になし	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2	0	特になし	LINEや連絡帳、送迎の際に顔を合わせて話すように心がけています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	7	2	特になし	現在はやっていないので、今後、ホームページやSNS、LINE等で活動をお知らせできる機会を作っていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	14	2	0	特になし	配慮している。	
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	7	2	特になし	マニュアルを作成することはできているが、ご家族への周知ができていないため、今後徹底していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	9	2	特になし	年に2回やるようにしているが、周知が行き届いていない時があるので前もってご家族にもお知らせしていこうと思っている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10	5	1	特になし	思いっきり動く活動や黙々と物を作ったり、料理を作ったりする活動を織り交ぜることや土曜日の時間に様々な場所に行き新たな体験ができる機会を作ることで子供達が楽しみに、また行きたいと思える環境を作っている。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	5	0	特になし	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。